



# Chu-Shi ACTIVITY REPORT

中四がんプロ活動レポート

## Vol.59

Sep. 2021

### 愛媛大学 Ehime University

臨床腫瘍学教育課程がん専門医養成コース  
●医学部学務課大学院チーム  
TEL:089-960-5868

### 岡山大学 Okayama University

がん専門医養成コース  
●医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ大学院担当  
TEL:086-235-7986  
がん専門職(がん専門・指導薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師)養成コース  
●医歯薬学総合研究科等薬学系事務室教務学生担当  
TEL:086-251-7923  
高度実践看護師(がん看護専門看護師)コース・医学物理学コース  
●医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ保健学研究科担当  
TEL:086-235-7984

### 香川大学 Kagawa University

がんプロフェッショナル養成コース  
●医学部学務課大学院入学試験係  
TEL:087-891-2075

### 川崎医科大学 Kawasaki Medical School

がん専門医療人養成コース  
●事務部教務課  
TEL:086-464-1012

### 高知県立大学 University of Kochi

APNコース  
●教務支援部教育研究戦略課  
TEL:088-847-8815

### 高知大学 Kochi University

がん専門医養成コース  
がん専門薬剤師養成コース  
●医学部・病院事務部学生課大学院係  
TEL:088-880-2799

### 徳島大学 Tokushima University

がん薬物療法専門医養成コース・臨床腫瘍放射線医学コース  
臨床腫瘍外科学コース  
臨床腫瘍栄養学コース(博士前期課程・博士後期課程)  
●蔵本事務部学務課第一教務係  
TEL:088-633-9649  
臨床腫瘍薬剤師養成コース  
●蔵本事務部薬学部事務室学務係  
TEL:088-633-7247  
高度実践がん看護学コース・医学物理学コース  
●蔵本事務部学務課第二教務係  
TEL:088-633-9009

### 徳島文理大学 Tokushima Bunri University

臨床腫瘍薬剤師養成コース  
●香川キャンパス教育・研究支援グループ(がんプロ担当)  
TEL:087-899-7100

### 広島大学 Hiroshima University

がん専門医養成コース  
がん専門薬剤師養成コース  
がん看護高度実践看護師養成コース  
医学物理学養成コース  
●農地区運営支援部学生支援グループ  
TEL:082-257-1538

### 松山大学 Matsuyama University

がん専門薬剤師養成コース  
●薬学部事務室  
TEL:089-926-7193

### 山口大学 Yamaguchi University

外科系腫瘍専門医養成コース  
内科系腫瘍専門医養成コース  
放射線腫瘍専門医養成コース  
がん看護専門看護師養成コース  
●医学部学務課大学院教務係がんプロ事務室  
TEL:0836-22-2055

<http://www.chushiganpro.ccsv.okayama-u.ac.jp/>

### 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム Vol.59

□ 編集兼発行者  
中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム事務局  
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1  
TEL:086-235-7812/FAX:086-235-7045  
ganpro@adm.okayama-u.ac.jp

□ 印刷所  
有限会社 ファーストプラン

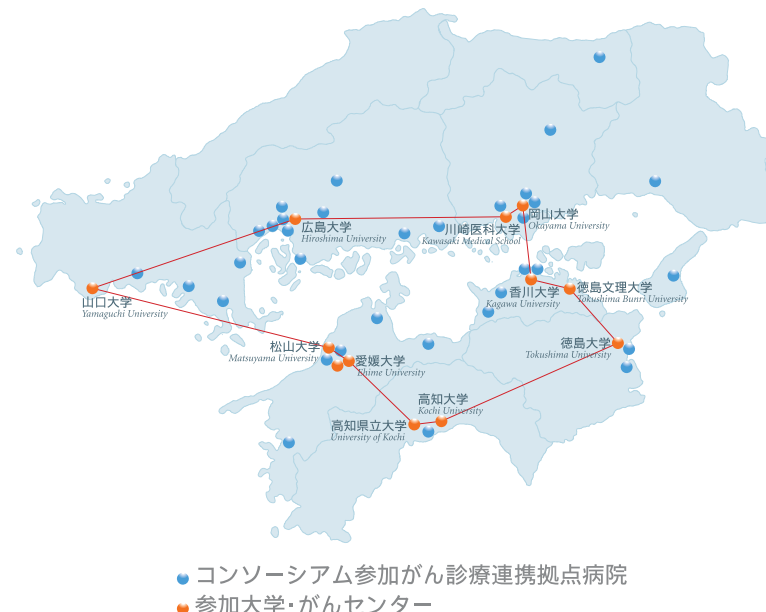
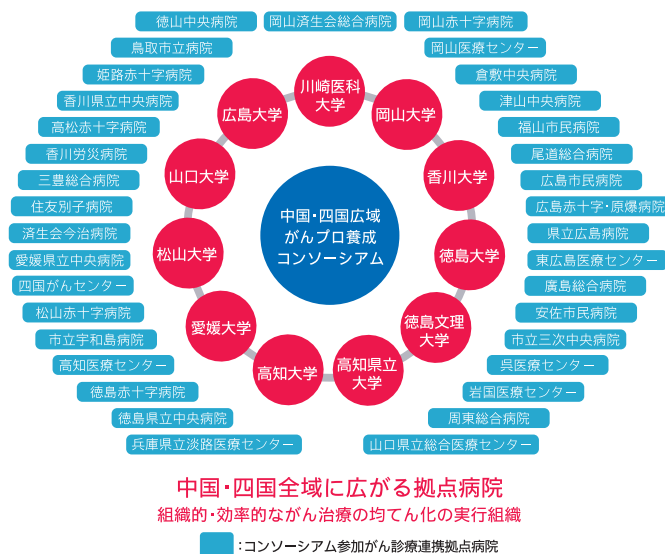


Mid-West Japan  
Cancer Professional Education Consortium  
中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム



## 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

中国・四国地域に位置する11大学がコンソーシアムを形成し、各大学院に多職種のがん専門医療人養成のためのコースワークを整備し、これに地域の35のがん診療連携拠点病院が連携することにより、広い地域にムラなくがん専門医療人を送り出すことを目的としています。



## ごあいさつ

平成29年6月に、中国・四国地域の11大学が連携する「全人的医療を行う高度がん専門医療人養成」プロジェクトが文部科学省の「多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン」に採択されました。

本事業は、がん医療を取り巻く状況変化に伴い生まれる多様な新ニーズにも対応するがん専門医療人の人材育成を目的としております。がん患者数の増加、治療の進歩に伴い高齢者医療、ゲノム医療、希少がん、小児／AYA世代がんへの対応は新たな重要課題となっており、中国・四国地方においても高いレベルでそれらを理解し、適切な医療を提供できる医療人の養成が必要とされています。さらに、がん患者の求める全人的医療を実践するためには、各々が高度な技術と知識を持った上で、チームとして連携し、がん診療を提供する多職種連携教育が重要となります。

本事業では中国・四国の11大学が参画するコンソーシアムを組織し、上記課題に対応できる卓越したがん専門医療人の人材育成にあたります。

当コンソーシアム事務局では、講演会、国内外の施設への研修など、コンソーシアムの活動情報を広く発信することを目的とした中四がんプロ活動レポートの発行を行っています。

本誌をきっかけに、大学院入学や各種セミナーへの参加等をご検討いただければ幸甚に存じます。

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム  
事務局

## ゲノム医療WGの取り組み

がんゲノム医療は「がん患者の腫瘍部および正常部のゲノム情報を用いて治療の最適化・予後予測・発症予防をおこなう医療（未発症者も対象とすることがある。またゲノム以外のマルチオミクス情報も含める）」と定義しています（がんゲノム医療推進コンソーシアム懇談会報告書 平成29年6月より）。

本WGでは、がんゲノム医療の実践と、関連の革新的医療技術の研究開発の推進を行うことができる人材の育成を目的・目標として、2019年度よりOn-the-Job Trainingを中心とした実践教育と、座学を中心とした講習会を組み合わせたカリキュラムを開始しました。到達目標を表1に、指導メンバーを下記に示します。

通年コースは一年を通して研修を行って表2の通り年間20単位以上取得した者には修了証を発行します。一日コースは専門・職種に応じて、履修希望項目を重点的に受講してもらうものです。主な対象職種は医師、看護師、保健師、助産師、薬剤師、臨床検査技師、バイオインフォマティシャン、認定遺伝カウンセラー、その他がんゲノム医療・遺伝医療に興味を持っている医療人で、通年コースと一日コースの2コースを開設しています。

2021年6月に岡山済生会総合病院の藤井雅邦先生が通年コース修了者第一号となり、修了証明書交付式が執り行われました（写真1、写真2）。

がんゲノム医療が保険収載されて2年目になります。我が国では2019年の第1回ゲノム医療協議会において、がん・難病等のゲノム医療を推進することが示されました。今後はがんも難病も国策として全ゲノム解析を医療に導入すると決定された今こそ、さらなる人材育成事業の充実が求められています。

### ■2021年度ゲノム医療WGメンバー

岡山大学:豊岡 伸一・平沢 晃・富田 秀太・諏澤 憲・久保 寿夫・二宮 貴一郎・河野 吉泰  
香川大学:辻 晃仁  
川崎医科大学:永坂 岳司  
徳島大学:藤野 泰輝  
山口大学:末廣 寛・徳光 幸生

### ■2021年度講演予定

#### 「全ゲノム解析時代に向けたゲノム情報の扱いにかかる課題」

岡山大学学術研究院医歯薬学域(医) 臨床遺伝子医療学分野 教授 平沢 晃

#### 「がんゲノム時代における外科医の在り方」

岡山大学病院 呼吸器外科 助教 諏澤 憲

表1 到達目標

- ・ 遺伝子バリエーションの標記とその意義を理解する
- ・ がんクリニカルシーケンスで検出される体細胞バリエーションとともに、潜在する生殖細胞系列バリエーションを理解する
- ・ 生物システムとしてのがんの特性を理解する
- ・ がん家族歴聴取と遺伝性腫瘍のリスク判定を学ぶ
- ・ ゲノム医療に参画する(がんゲノム医療外来、遺伝カウンセリング外来、Genomics board、エキスパートパネルなど)
- ・ 基盤となる知識を座学で確実にする
- ・ その他

表2 カリキュラム

#### コース詳細(通年コース)

- ・ エキスパートパネル参加◎ … 3単位(1単位/1回×3回)
- ・ がんゲノム医療外来実習(外来陪席)◎ … 3単位(1単位/1回×3回)
- ・ 遺伝カウンセリング外来実習(外来陪席) … 1単位/1回
- ・ 岡山臨床遺伝カンファレンス等への参加(講演) … 1単位/1回
- ・ 生体試料の取扱いとバイオバンク(講義・実習) … 1単位/1回
- ・ 関連セミナーあるいはシンポジウム等への参加 … 1単位/1回
- ・ 学会・研究会などでの成果公表 … 5単位/1回
- ・ 臨床研究の主導 … 10単位/1プロジェクト

※◎印は必修

【年間20単位以上取得した者には修了証を発行】

#### コース詳細(一日コース)

履修者の要望に応じてアレンジします。以下はモデルコースです。

- 火曜日 14:00-16:00 ガイダンス(がんゲノム医療・院内フロー概要)、  
病理部・薬剤部・検査部・バイオバンク等見学
- 16:30-17:30 Genomics board
- 17:30-18:30 プレエキスパートパネル
- 水曜日 14:00-16:00 ガイダンス(がんゲノム医療・院内フロー概要)、  
病理部・薬剤部・検査部・バイオバンク等見学
- 16:00-17:00 エキスパートパネル見学

【一日コースの修了証を発行】

2020年度 がんゲノム医療人育成コース 通年コースを終えて  
研修先：岡山大学病院

岡山済生会総合病院 消化器内科 主任医長/超音波センター長 藤井 雅邦

#### 何を学んだか

がんゲノム医療人育成コース 通年コースで勉強させて頂く以前はがんゲノム医療に関する知識はほとんどありませんでした。コースで履修をさせていただき、岡山臨床遺伝カンファレンスや関連セミナーなどへの参加を通じて、ゲノム医療の基本的な知識を学ぶことができました。さらにエキスパートパネルやがんゲノム医療外来、遺伝カウンセリング外来へ陪席させて頂き、がんゲノム医療の臨床の実際を学ぶことができました。

#### 今後、何を教育、臨床にフィードバックしたいか

がんゲノム医療人育成コースで学ばせていただいた最新のゲノム医療や遺伝カウンセリングの知識を臨床現場で活かしていきたいです。また日々進歩しているゲノム診療分野を引き続き継続して勉強していきたいと思えます。更に、医療分野だけではなく、社会全体へのゲノム医療の普及も重要であり、啓蒙活動に協力していきたいと思えます。

#### そのための方策

最新の知見を得られるよう学会、研究会などへ参加します。また中核拠点病院である岡山大学病院で遺伝診療の勉強を継続させて頂きたいと考えています。

#### この研修全体について

岡山大学病院で研修させて頂き、最先端のゲノム医療を勉強させていただくことができました。平沢教授をはじめ岡山大学臨床遺伝子診療科のスタッフの方々には大変親切にご指導頂きました。本当にありがとうございました。ゲノム医療では特に新しい情報を入手し、それを実践できるような体制を構築していくことが重要です。そういった環境が岡山大学病院、がんゲノム医療人育成コースには整っており、非常に素晴らしいと思えました。また、今後も遺伝診療を勉強していきたいと思えますので引き続きよろしくお願い致します。



写真1



写真2



実習の様子



## 2020年度 高知県立大学がん高度実践看護師 (APN) コース

### ～Cancer Trajectory をたどる人のニーズに応える高度実践を創造する看護師養成～ 高齢がん患者の治療とケア アドバンスト編

目的：ライフステージやがんの特性を考慮して、がんと共に生きる人とその家族の健康と生活に関わるニーズに応えられる専門性の高い実践ができる看護師の養成

履修期間：2020年9/5(土)、6(日)、10/10(土)、11(日)、11/7(土)、8(日)  
2021年2/6(土)、7(日)

開催場所：高知県立大学池キャンパス 看護学部棟よりWeb (Zoom) 配信

履修科目：4単位60時間 「高齢がん看護基盤論」「高齢がん診断治療学」「高齢がん看護実践論」「高齢がん看護展開論」

対象者：専門看護師、大学院修士課程修了者、がん看護・老年看護に関連する認定看護師

修了要件：コースで定める60時間のうち、各科目8割以上履修すること

受講者数：35名、うち33名が修了

\*内訳：APNコースⅠ：7名受講し7名が修了、APNコースⅡ：28名が受講し26名が修了

高知県立大学では2017年度から、がん高度実践看護師 (APN) コースを開講し、2020年度は「高齢がん患者の治療とケア アドバンスト編」をテーマに、高齢がんの診断や治療に関する知識、高齢がん看護に関する専門的な知識と技術を学び、がんをもつ高齢者のニーズに対応することのできる、専門性の高い看護実践力を修得することを目指したコース (リカレント教育) を開催した。



主催者：藤田 佐和 先生

#### 【終了報告】

当初、高知県で8日間の対面での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みWeb (Zoom) 開催に変更した。受講生は、鳥取・岡山・広島・山口・香川・愛媛・徳島・高知県から、がん看護専門看護師、老人看護専門看護師、がん化学療法看護認定看護師、がん放射線療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師、緩和ケア認定看護師、認知症看護認定看護師、がんプロ学生が参加した。

受講生は、8日間のコース (講義やグループワーク等) を通して、高齢がんの診断や治療に関する知識や、高齢がん看護に関する専門的な知識と技術について学んだ。最終日には、受講生は既習の理論や現状と課題をふまえ、高齢がん患者の特徴を有する6事例についてグループワークを行い、高齢がん患者への看護実践に向けて知識の統合と患者理解を深め、新たな視点を含めた看護援助を考案することができた。また、多施設、多領域の専門・認定看護師、専門看護師を目指す学生がディスカッションをすることで、互いに刺激を受け、自分にはなかった新たな視点や考え方を知る機会となった。

受講生からは、「老人看護の基本から、かなり高度ながん看護について学ぶことができた」「患者の発達課題や年齢による理解の視点や活用する理論について理解が深まった」「高齢者のアセスメントについて学ぶことができ、それを加えたがん患者のアセスメントができるようになった」「高齢がん患者の身体的・社会的特徴を理解すること、治療に基づく根拠、生活していく上での視点、また事例を通したグループワークではその方や家族にとって必要な看護実践を展開していくことを学ぶことができた」などの声が聞かれた。本コースは受講生のニーズに応え、今後の専門性の高い看護実践につながる有意義なコースであったと考える。

## 【全体のサマリー】

## 「高齢がん看護基盤論」

藤田冬子先生（神戸女子大学看護学部教授 老人看護専門看護師）からは、老年学と老年看護を理解する上で必要な諸理論、及びそれら的高齢がん看護実践への具体的な活用について講義があった。受講生は、高齢がん患者の加齢に伴う身体的・心理的・社会的な特徴を理解する上で重要な、様々なエイジングの概念や、発達理論に基づく老年期の課題を学び、高齢者の老化や発達課題を考慮して現象をとらえていくことについて学んだ。また、看護者は、患者が高齢であることに加え、がんという疾患の余命を考える必要があること、いかにその人の「自分らしさ」に近づけるかが重要であり、高齢者にとってのQOLや高齢者の自立を支え、老衰や死の中での統合を関連職種とのチームアプローチで支援する重要性を学ぶことができた。高齢がん患者への具体的な看護実践について学ぶことで、高齢がん患者への理解を深める機会となり、生活背景やこれまでの生き方、価値観を尊重した支援を考えていく重要性を改めて認識することができた。



講師：藤田 冬子 先生

百瀬由美子先生（愛知県立大学副学長 看護学部教授）からは、高齢者への看護に関する最新の倫理的課題とアプローチの実際、高齢者看護における課題と戦略について講義があった。受講生は、高齢者を取り巻く医療環境が抱える課題として、認知症をもつ高齢がん患者の意思決定における危険性や家族の負担、地域包括ケアシステムの検討などについて学ぶことができた。また講義とグループワークで、高齢者看護における倫理的課題について、高齢者の権利擁護や意思決定支援、老年看護学領域での倫理的課題、倫理的アプローチのための基礎となる倫理的概念や原則論、モデルや分析ツールについて、具体的な事例検討を通して学んだ。受講生は、自分自身の倫理的感受性を高め、患者の権利の擁護者として他職種と協力し「患者にとっての最善」をチームで検討することの重要性を再認識することができ、自らの看護実践につなげる動機づけとなった。



講師：百瀬 由美子 先生

## 「高齢がん診断治療学」

小笠原麻紀先生（高知大学医学部附属病院 精神看護専門看護師）からは、認知症の診断治療の現状と課題、認知症と治療の実際、認知症の中核症状と行動・心理症状（BPSD）、認知症に類似した状態、薬物療法、倫理的課題、看護ケア等について講義があった。受講生は、認知症と診断された高齢者が、言語表現や疾患に関連した症状をうまく伝えることができないことでニーズや症状が見落とされしまうと心身の状態が急変したり合併症のリスクが高くなること、治療・入院による様々なストレスや混乱の結果、治療拒否や看護への抵抗などを引き起こすこと、身体抑制、薬物による鎮静などにより認知症が悪化しやすいことを学んだ。また、せん妄の予防と対応について、大切なのは診断することではなく、せん妄予防とケアをすぐに始めることや、中核症状からBPSDが発症する過程は看護師がマネジメント、プランニングできるところであり、身体的苦痛の緩和、環境調整、安心感を与える声のかけ方や対応の方法を工夫し、状況を変える支援が重要であることを学ぶことができた。受講生は、高度な看護実践を行う上で医学的知識は不可欠であり、個別的なアプローチの必要性を再認識し、実践への活用を考える機会となった。



講師：小笠原 麻紀 先生

島田安博先生（高知医療センター病院長）からは、高齢がん患者への治療の現状と課題、高齢者へのがん薬物療法の実践について講義があった。高齢がん患者の治療において、非高齢者は再発リスクや有害事象のリスク等について臨床試験データを外挿できるが、高齢がん患者の臨床試験のエビデンスは不足しており臨床試験データが外挿できないこと等を学んだ。高齢者は、加齢に伴い身体機能・臓器機能の低下、複数の併存疾患をもち、栄養状態の不良、認知機能の低下、ポリファーマシー、うつ状態、独居やキーパーソンが不在等の社会的背景の問題など、複数の問題を抱えており、個々にその程度も異なり、様々な価値観をもっている。そのため、多職種チームによる多面的な評価と介入が重要であることを学んだ。高齢がん患者における高齢者機能評価は、これまで見逃されていた問題の発見や治療方針の決定、有害事象や予後予測にも有効であることを理解することができた。また、事例を通して、高齢がん患者の治療法選択や説明、生命予後、QOL、意思決定支援等について学び、看護師の役割について改めて考える機会となった。



講師：島田 安博 先生

## 「高齢がん看護実践論」

吉岡佐知子先生（松江市立病院副看護局長 老人看護専門看護師）からは、認知症をもつ高齢者に対する心理社会的支援について講義があり、高齢者を理解するためには、認知症やせん妄に関する知識を持つこと、身体面・精神面、社会面・スピリチュアルな面についてのアセスメントが重要であることを学んだ。受講生は、看護師の日常ケアの中の言動が高齢者に苦痛を与えるケアとなる場合があるので、患者の尊厳を保持するためには自分自身のケアを振り返ることの重要性を学んだ。事例検討を通して、老いや老化、環境による認知機能の変化を理解し、本人のこれまでの生活に焦点を当てながら、家族との関係を丁寧に見ていくことの大切さを学んだ。また、「何かができない」という見方は、その人の力を狭めてしまうため、何が生活する上で不自由なのか、本当にできないのかと認知機能を丁寧にみることが重要であることが理解できた。受講生は、患者がなぜそのような行動をとるのか紐解いていくことが認知症高齢者の心理的・社会的支援となり、患者や家族が歩み紡いできた時間に目を向けることの重要性を、改めて考える機会となった。



講師：吉岡 佐知子 先生

山田みづき先生（千葉県がんセンター看護師長 がん化学療法看護認定看護師 がん看護専門看護師）からは、高度ながん治療を受ける高齢がん患者への看護援助、がん薬物療法を受ける高齢者への援助の実際について講義があった。高齢がん患者の特徴として、進行した状態で発見され、多発がん・重複がんが多いこと、全身状態の個人差が大きく、既往歴や治療副作用が悪化しやすい等、様々な問題を抱えていることを理解することができた。そして、高齢がん患者の治療と治療選択について、手術療法、放射線治療、IVR、がん薬物療法についての考え方、アセスメントの視点の重要性、特に高齢がん患者の薬物療法においては、現在のQOLを大切にすることを患者の視点と将来のQOLを大切にすることを医療者の視点を共有した共同の行動目標の設定、患者の自己効力感も考慮した介入が重要であることを理解することができた。事例のアセスメントや展開の具体例を通して、受講生はエビデンスに基づいたアセスメントを丁寧に学び、症状マネジメントやセルフマネジメントの視点を踏まえた患者への援助や、チーム医療の一員である看護師として何が出来るかを考え行動することの重要性を改めて考える機会となった。



講師：山田 みづき 先生

### 「高齢がん看護展開論」

吉田美由紀先生（愛媛大学大学院医学系研究科助教 地域看護専門看護師）からは、在宅高齢がん患者への看護援助、がんと共にある高齢者の暮らしを支える援助の実践について講義があった。在宅高齢がん患者は、急速に状態が悪化し看取りとなる場合もあり、在宅チームは急速な変化に即応する関わりが必要であり、医療機関の医師や看護師と連携した支援の重要性を学んだ。事例を通して、主体である患者や家族のストレスを最大限に活かした支援や、患者の病状経過と予後予測、今後生じる課題について検討した。在宅では、様々な予測される問題への備えがあることで安心・安全なケアとなる。予後予測をし、予測内容を患者、家族の想定内にしておくこと、出現する症状に対して迅速に対応すること、必要なサービスを使えるように備えておくこと、チームで対応策を予め共有し患者の変化に迅速に対応すること、在宅緩和ケアに必要な医療や社会資源の知識に加え、個々に応じたサービスを判断・調整する能力の重要性を学んだ。さらに、在宅高齢がん患者の倫理的課題の特徴について事例を通して理解することができた。



講師: 吉田 美由紀 先生

受講生の経験した複雑な課題を抱える高齢がん患者の困難事例6ケースについて、個人ワークとグループワークを行い、看護援助について検討した。グループメンバーは専門分野の異なる専門・認定看護師、大学院生の5～6名で構成し、グループ内に高齢者看護の専門性の高いメンバーとして老人看護専門看護師または認知症看護認定看護師を1名配置した。受講生はこれまで修得した知識や技術を統合して事例を展開し、患者の全体像、看護問題と看護目標、看護援助について話し合い、各グループの内容を発表・共有した。本コースでの講義内容の理解をより深め、アセスメントの視野を広げて看護援助を考えることができ、それぞれの現場で今後の看護実践にどう活用していくかを考える機会となった。



看護展開論 藤田 先生



看護展開論 森本 悦子 先生



グループワーク

### 【受講生アンケート結果】

受講生33名のうち、32名から回答があった（回答率97.0%）。アンケートの結果、【コース全体を通しての満足度】は「大変満足した」26名（81.2%）、「まあまあ満足した」6名（18.8%）であった。【専門性の高い看護実践力修得へのつながり】は「十分つながった」22名（68.8%）、「ある程度つながった」9名（28.1%）、【今後のがん患者への専門性の高い看護実践への活用】は「大変活用できる」23名（71.9%）、「まあまあ活用できる」9名（28.1%）であり、受講者のニーズに応えることのできたコースであったと思われる。また、専門性の高い看護実践力の修得につながった具体的な内容については、「高齢者を理解する視点や活用できる理論」「認知症の病態、高齢がん患者の治療、意思決定能力が低下した高齢がん患者の意思決定支援」「高齢者の強みを活かす」「意見の違う家族それぞれの思いを大切にす」「高齢がん患者と関わる医療者が年齢や認知機能で偏った見方をしていないか俯瞰してみる」等があげられた。さらに、今後の高齢がん患者への専門性の高い看護実践に活用できると思う具体的な内容については、「高齢者の特徴と高齢がん患者のがん治療に対する考え方」「高齢がん患者のストレスを見出す」

「高齢がん患者の特徴、意思決定の特徴、認知症患者の理解やアセスメント、看護援助、在宅への支援や在宅療養支援」「高齢者の自己決定・意思決定における看護師の役割」「全ての内容が活用でき、復習、実践しながらそれを自分のものにしたい」等があげられた。

これらの結果から、受講生はコースで学んだ知識や内容を今後の高齢がん看護実践に活用する力を修得し、今後さらに専門性の高い看護実践を行っていくための自己の課題を見出し、受講生にとって有意義なコースとなったと考えられる。

今回、Web（Zoom）開催による研修の良い面と改善点が見出された。受講手段については、交通手段、宿泊場所、費用、時間、予定調整等のメリットがあった。「遠方に行くことなく受講が可能だったことは、交通機関や宿泊場所の手配の心配がなく良かった。費用も時間も節約できた」「移動の負担や体調面を考慮するとZoomでの開催で助かった部分が多い」「次年度以降も、コロナと関係なくZoomでの研修を継続してほしい」などの意見があった。感想として、「講義についてはZoomでも良かったが、グループワークは対面で参加したかった」「発言するタイミングが少し難しかった」「グループワークはお互いが知らない状況で短時間の検討になると意見が出にくかった」などがあった。しかし、「初めはグループディスカッションが難しかったが、徐々に慣れた」「事例検討が難しいのではと危惧していたが、画面越しではあるものの、グループメンバーの顔を見ながらできて良かった」「今回webでのグループ会議は初めてのことで、どのタイミングで発言するのか迷うこともあったが、後半は対面と同じ感覚でグループ会議に参加することができた」「グループワークでの学びが大きかった」等の意見があった。Zoomでの受講に慣れることや、グループワークの方法や進め方を検討することで、研修の効果を高めることができると考えられる。

今後の開催方法の希望として、最も多かったのは「講義はWeb開催で、最終日の事例検討のみ対面」で11名（34.4%）、次に「すべてWeb開催」が9名（28.1%）であった。研修方法として、Web研修を取り入れることにより、感染リスクや場所・時間、費用等面の負担が軽減され、より多くの受講者が学びを得る機会となり、高度実践看護師と中心とするリカレント教育にさらに貢献できると考えられる。

修了式は、例年、修了証を手渡していたが、Web（開催）のため、受講者がそれぞれの学びを一人ずつ発表し、後日、修了証を郵送した。

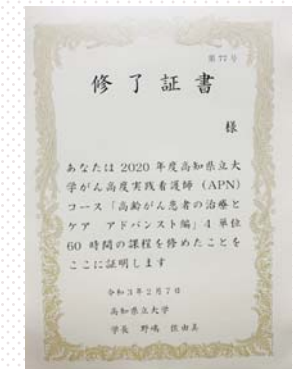
2021年度は「AYA世代がん患者のケアとキュア アドバンスト編」のコースを、本年度もWeb（Zoom）で開講予定です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



発表者



集合写真



修了証書

# 活動報告

## 高知県立 高知県立大学がん看護インテンシブコースⅠ

テーマ：高齢がん患者に安心をもたらすケアを創造していく訪問看護師育成  
研修期間：15日間

- ・講義/演習：10/3(土)、4(日)、25(日)、11/28(土)、29(日)、12/19(土)、20(日)、2021年2/20(土)
- ・所属施設での実践(所属施設の勤務日の中で実践日を3日間設定)
- ・見学実習：2021年1/12(火)～2/12(金)(このうち平日3～4日間)

場所：高知県立大学池キャンパス

参加者：7名

研修目的：高齢がん患者の入院早期から退院後の生活を見通してケアを提供し、在宅医療の可能性と選択を広げることのできる看護職および、チーム医療を基盤とする在宅がん医療をコーディネートしていくことのできる、高齢がん患者とその家族のケアに関する専門的知識と技術を有する看護師の養成。

## 岡山 がん医療におけるコミュニケーションスキルWEB講演会 from 岡山

日時：令和3年1月23日(土) 14:00～16:00

場所：オンライン開催(Zoom)

参加者：81名

講演1：「コミュニケーションスキルSHAREを  
がん臨床の現場で生かすには」

岡山済生会総合病院 内科 那須 淳一郎

講演2：「がん医療におけるコミュニケーションスキルの普及、実装  
～NHK取材を受けた経験を通じて～」

国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 心療内科 所 昭宏

株式会社リヴァ リヴァトレ市ヶ谷

(前 国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科) 臨床心理士 二宮 ひとみ

講演3：「模擬患者の役割」

つくばSP会 佐藤 菊枝



## 徳島 がんプロ臨床腫瘍外科学コース対象 縫合道場～基本理論から応用へ～

日時：令和3年2月5日(金) 15:30～17:00

場所：徳島大学 医学臨床B棟6階 カンファレンス室

参加者：12名

内容：縫合糸、縫合針の種類とその特徴

基本的な縫合の理論

基本から応用へ(実技編)

表皮の縫合(単結節縫合から真皮縫合)

腸管の吻合 ほか

## 広島 広島大学病院 在宅緩和ケア事業研修会

日時：令和3年2月5日(金) 18:30～20:00

場所：広島大学病院 臨床管理棟3階 大会議室およびZoom

参加者：105名

「治療とケアのゴールを話し合うーACPとEnd-of-Life Discussionについて考えるー」

神戸大学医学部附属病院 緩和支援治療科 特命教授 木澤 義之 先生

## 愛媛 第3回 AYA世代対応ネットワーク・妊孕性ネットワークセミナー

日時：令和3年2月5日(金) 19:00～20:30

場所：ホテルマイステイズ松山3F「ドゥエミーラ」およびオンライン開催

参加者：116名

一般講演：「がんサバイバーの妊娠出産の実態と周産期リスク」

愛媛大学大学院医学系研究科 産科婦人科学講座 助教 安岡 稔晃 先生

特別講演：「沖縄県の社会全体で熱い気持ちで取り組むAYA世代がん診療のお話とテセントリックに期待をすること」

那覇西クリニック 乳腺外科 診療部長 玉城 研太郎 先生

## 山口 第2回 がん治療スキルアップセミナー

テーマ：放射線治療

日時：令和3年2月8日(月) 17:30～18:30

場所：Zoom

参加者：35名

「放射線治療総論」

山口大学医学部附属病院 放射線治療科 助教 眞鍋 裕気 先生

## 徳島 徳島大学臨床腫瘍学講演会 膵癌の診断と治療

日時：令和3年2月9日(火) 18:00～19:20

場所：徳島大学病院 西病棟11階

日垂メディカルホール/Zoom同時配信

参加者：26名

講演1：「膵癌早期診断の最前線」

広島大学医学部 臨床教授

JA尾道総合病院消化器内科 診療部長 花田 敬士 先生

講演2：「膵癌の外科治療：最近の話題」

近畿大学外科 肝胆膵部門 主任教授 竹山 宜典 先生



## 岡山 オンライン市民公開講座「AYA世代のがん治療 現状と最近の知見」

日時：令和3年2月11日(木) 13:00～15:35

場所：オンライン開催(Zoom)

参加者：155名

「AYA世代患者の悩みと、期待される支援」

NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会 松本 陽子 氏

「AYA世代の血液がん」

岡山大学病院 輸血部 講師 藤井 伸治

「AYA世代の乳癌」

岡山大学病院 乳腺・内分泌外科 講師 枝園 忠彦

「AYA世代がんの妊孕性」

岡山大学大学院保健学研究科 看護学 教授 中塚 幹也



## 岡山 第10回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日時:令和3年2月16日(火) 18:30~20:00  
 場所:Zoomによるオンライン授業  
 参加者:14名  
 「透過型検出器を用いたリアルタイム品質管理の可能性」  
 徳島大学大学院保健科学教育部 佐々木 幹治 先生

## 広島 広島大学病院 がん医療従事者研修会

日時:令和3年2月19日(金) 18:30~20:00  
 場所:Zoomによるオンライン開催  
 参加者:37名  
 「がん免疫療法 irAE対策アップデート」  
 広島大学病院 がん治療センター 准教授 岡本 渉 先生

## 広島 第17回 広島臨床遺伝セミナー

テーマ:ゲノム医療で挑む小児・希少がんと神経難病  
 日時:令和3年2月20日(土) 14:00~17:00  
 場所:Web開催  
 参加者:104名  
 第1部:「小児・希少がんに対するゲノム医療の実際と今後の展望」  
 国立がん研究センター 小児腫瘍科 田尾 佳代子 先生  
 第2部:「家族性大腸ポリポーシス患者と家族の会『ハーモニー・ライン』の活動を通して感じたこと」  
 ハーモニー・ライン 代表 土井 悟 様  
 第3部:「パーキンソン病の遺伝学」  
 順天堂大学大学院医学研究科 老人性疾患病態・治療研究センター 先任准教授 船山 学 先生

## 松山 松山大学大学院医療薬学研究科 がんプロ第7回公開講座

テーマ:乳がん治療 UP TO DATE  
 日時:令和3年2月28日(日) 14:30~16:30  
 場所:Zoomを使ったWeb開催  
 参加者:127名  
 講演1:「乳がん治療における薬剤師の役割」  
 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 済川 聡美 先生  
 講演2:「乳がんについて~診断から治療まで~」  
 愛媛大学医学部附属病院 乳腺センター 村上 朱里 先生

## 岡山 第11回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日時:令和3年3月2日(火) 18:30~20:00  
 場所:Zoomによるオンライン授業  
 参加者:13名  
 「放射線治療品質管理基礎技術12(治療計画2:患者データ、補正、セットアップ)」  
 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

## 徳島 Tokushima Respiratory Skills Lab 気管支鏡実技セミナー

日時:令和3年3月6日(土) 13:00~16:00  
 場所:徳島大学医学部 医療教育開発センタースキルスラボ5、6  
 参加者:35名  
 ■EBUS-GS/TBNAの手技の解説とコツ  
 EBUS-GSについて  
 徳島大学病院 呼吸器外科 高嶋 美佳 先生  
 EBUS-TBNAについて  
 徳島大学病院 呼吸器外科 松本 大資 先生  
 ■実技コース  
 A.EBUS-TBNA①→休憩(5分)→EBUS-GS①  
 B.EBUS-GS①→休憩(5分)→EBUS-TBNA①  
 C.EBUS-TBNA②→休憩(5分)→EBUS-GS②  
 D.EBUS-GS②→休憩(5分)→EBUS-TBNA②  
 <<講師の先生方>>(敬称略)  
 徳島大学病院 呼吸器外科 鳥羽 博明、河北 直也、高嶋 美佳、松本 大資  
 徳島大学病院 呼吸器・膠原病内科 香川 耕造、米田 浩人  
 徳島県立中央病院 呼吸器科 手塚 敏史、宮本 憲哉



## 岡山 第12回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

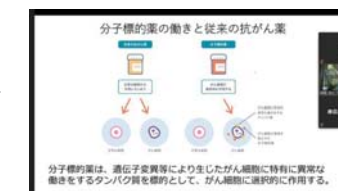
日時:令和3年3月9日(火) 18:30~20:00  
 場所:Zoomによるオンライン授業  
 参加者:9名  
 「放射線治療品質管理基礎技術13(治療計画3:照射野、皮膚線量、分割)」  
 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

## 岡山 第13回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日時:令和3年3月16日(火) 18:30~20:00  
 場所:Zoomによるオンライン授業  
 参加者:16名  
 「放射線治療計画QAソフトウェアを用いた定量化と治療計画改善効果の可能性」  
 徳島大学大学院保健科学教育部 佐々木 幹治 先生

## 徳島 徳島大学腫瘍セミナー

日時:令和3年3月19日(金) 18:00~19:00  
 場所:徳島大学病院 西病棟 日垂メディカルホール/Zoom同時配信  
 参加者:27名  
 「がんのゲノム医療~最近の話題~」  
 近畿大学医学部ゲノム生物学 教授 西尾 和人 先生





## 患者-医師間のコミュニケーションの質のさらなる向上を目的とした コミュニケーション技術のスキル・アップ研修会

徳島

日時:令和3年3月20日(土) 12:00~18:00  
令和3年3月21日(日) 9:00~14:40

場所:Zoomを使用したオンラインで実施

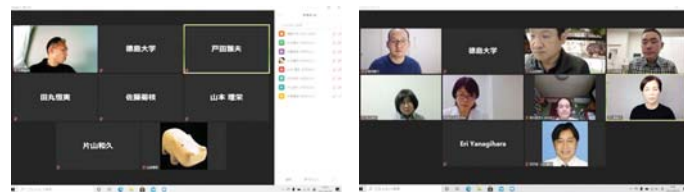
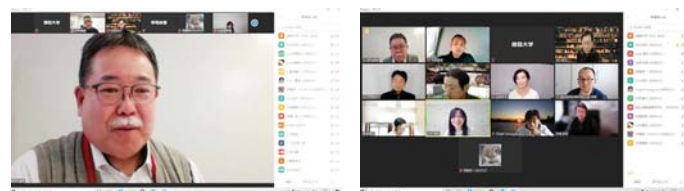
参加者:19名

第1日目(3月20日)

- オリエンテーション
- あいさつ
- 講義
- ブレイクアウトルームへ移動、自己紹介
- 第1回 ロールプレイ
- 第2回 ロールプレイ
- 第3回 ロールプレイ
- 第4回 ロールプレイ
- 各グループのまとめ

第2日目(3月21日)

- 第5回 ロールプレイ
- 第6回 ロールプレイ
- 第7回 ロールプレイ
- 第8回 ロールプレイ
- 全体のまとめ



## 岡山 第14回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日時:令和3年3月23日(火) 18:30~20:00

場所:Zoomによるオンライン授業

参加者:10名

「放射線治療品質管理基礎技術14(高エネルギー電子線治療)」

「放射線治療品質管理基礎技術15(小線源治療)」

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

## 愛媛県がん・生殖医療ネットワーク(EON)セミナー (第2回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講習会)

愛媛

日時:令和3年3月25日(木) 17:00~18:30

場所:CISCO Webexミーティング(ライブ配信)

参加者:23名

「愛媛県における若年がん患者の妊孕性温存～凍結保存に向けた連携について～」

愛媛大学大学院医学系研究科 産科婦人科学 助教 安岡 稔晃

## 岡山 第1回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日時:令和3年4月20日(火) 18:30~20:00

場所:Zoomによるオンライン授業

参加者:10名

「放射線治療品質管理基礎技術1(物性)」

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

## 岡山 第2回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日時:令和3年4月27日(火) 18:30~20:00

場所:Zoomによるオンライン授業

参加者:10名

「放射線治療品質管理基礎技術2(原子核物理)」

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

## 岡山 第3回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日時:令和3年5月11日(火) 18:30~20:00

場所:Zoomによるオンライン授業

参加者:10名

「放射線治療品質管理基礎技術3(X線の生成)」

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

## 徳島 徳島大学腫瘍セミナー

日時:令和3年5月14日(金) 18:15~19:15

場所:徳島大学病院 外来診療棟 日垂ホール ホワイト大/Zoom同時配信

参加者:17名

「高齢者のがん薬物療法」

名古屋大学附属病院 化学療法部 教授 安藤 雄一 先生

## 岡山 第4回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日時:令和3年5月25日(火) 18:30~20:00

場所:Zoomによるオンライン授業

参加者:10名

「放射線治療品質管理基礎技術4(臨床放射線発生装置)」

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

## 広島 広島大学病院 がん医療従事者研修会

日時:令和3年5月28日(金) 18:30~20:00  
場所:Zoomによるオンライン開催  
参加者:53名

「基礎から解説するがん臨床試験」

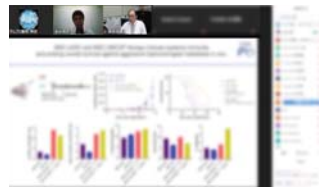
広島大学病院 がん化学療法科 教授  
がん治療センター センター長 杉山 一彦 先生

## 岡山 Global Oncology Online Seminar in 2021

日時:令和3年6月10日(木) 19:30~21:30  
場所:オンライン開催(Zoom)  
参加者:40名

「進行固形癌に対する遺伝子改変間葉系幹細胞を用いた新規治療戦略」

Novel engineered mesenchymal stem cell-based therapies for advanced solid tumors  
ブリガム・ウィメンズ病院 脳神経外科 金谷 信彦



## 岡山 第5回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日時:令和3年6月15日(火) 18:30~20:00  
場所:Zoomによるオンライン授業  
参加者:8名

「放射線治療品質管理基礎技術5(電離放射線の相互作用)」

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

## 高知 アピアランスケアwebセミナー

日時:令和3年6月22日(火) 19:00~  
場所:Zoomによるオンライン開催  
参加者:41名

「アピアランスケア-明日から取り組めるアピアランスケアの実践-」

目白大学看護学部看護学科 教授 野澤 桂子 先生

## 岡山 第6回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日時:令和3年6月29日(火) 18:30~20:00  
場所:Zoomによるオンライン授業  
参加者:8名

「放射線治療品質管理基礎技術6(電離放射線の計測)」

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

## 広島 第21回 日本癌治療学会 市民公開講座

テーマ:最新がん治療の動向

日時:令和3年7月11日(日) 13:00~17:00  
場所:WEB開催  
参加者:124名

「小児がん・AYA世代がんを考える:最近の取り組み」	広島大学病院	小児外科	檜山 英三
「がんに対する薬物療法-免疫療法を中心に-」	広島大学病院	がん化学療法科	杉山 一彦
「最新の肺がん外科治療」	広島大学病院	腫瘍外科	岡田 守人
「ゲノム情報に基づいた最新のがん診療」	広島大学病院	遺伝子診療科	檜井 孝夫
「ご存知ですか?がんの放射線治療」	広島大学病院	放射線治療科	村上 祐司
「口の中のがん(舌癌を中心に)」	広島大学病院	歯科放射線科	柿本 直也
「早期大腸がんに対する内視鏡治療の進歩」	広島大学病院	内視鏡診療科	田中 信治

## 第25回 宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会

### 山口 第1回 がん治療スキルアップセミナー

日時:令和3年7月19日(月) 17:30~18:30  
場所:山口大学医学部附属病院 オーディトリウム  
参加者:29名

「在宅・病院・介護施設でつなぐACP~泌尿器がんの高齢独居患者が治療継続しながら地域での暮らしを実現できた事例~」

山口大学医学部附属病院 泌尿器科 助教 平田 寛 先生  
山口大学医学部附属病院 看護師 佐藤 真理子 先生



## 山口 第7回 山口大学がんプロがん看護CNS事例検討会

日時:令和3年7月21日(水) 14:00~15:30  
場所:山口大学医学部医修館1階 多目的室  
参加者:6名

がん看護専門看護師の認定審査合格のための問題の解き方と、参加者の回答への助言や模範解答について解説が行われた。

講師:なゆたの森病院 がん看護専門看護師 成清 優子 先生

